

平成22年度公立大学法人島根県立大学当初予算の概要

予算編成の考え方

島根県立大学は、平成19年度に3大学が統合・法人化し、3キャンパスの基盤づくりと教育研究の活性化に努めてきた。特に、平成21年度には「島根県立大学憲章」を制定し、全学を通じた理念を内外に明らかにすることで、更なる飛躍の足固めを行ったところである。

平成22年度は中期計画の後半が開始する年であり、現計画の仕上げ・成果を強く意識した法人運営を進めていく必要がある。そして、並行して、次期中期計画に向けた準備に取りかかる時期にも位置づけられる。

一方で、県の運営費交付金が効率化を促す趣旨から毎年度減額される中、平成22年度は一段と厳しい効率化方針が示されており、自律的な運営を継続していくためには、経費削減努力と効果的な事業実施及び自己財源の確保が肝要である。

このため、平成22年度予算案は、「年度計画」と整合を図り、中期計画が着実に実行できるよう、次の重点事項に留意しつつ編成を行ったところである。

「中期目標」達成のため、教育の質の向上、学生支援の充実、競争的外部資金事業の後継対策、業務の改善などに資する事業について重点的に予算措置する。

「教育研究及び業務運営充実積立金」の用途にふさわしい事業については、当該積立金を事業財源として充当する。

予算の概要

1. 事業費総額

事業費総額は、30億77百万円で、前年度予算（29億11百万円）に比べ、5.7%増（167百万円増）となっています。

(単位:千円、%)

区 分	平成22年度当初	平成21年度当初	増 減	増減率
予算規模	3,077,473	2,910,554	166,919	5.7

2. 収入予算

(単位:千円、%)

区 分	平成22年度当初		平成21年度当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
運営費交付金(退手除)	1,534,800	49.9	1,611,063	55.4	76,263	4.7
学生納付金	970,957	31.6	957,463	32.9	13,494	1.4
県補助金	86,833	2.8	77,380	2.7	9,453	12.2
外部補助金等	76,346	2.5	121,526	4.2	45,180	37.2
寄附金	40,000	1.3	40,000	1.4	0	0.0
その他収入	81,352	2.6	87,122	3.0	5,770	6.6
計	2,790,288	90.7	2,894,554	99.5	104,266	3.6
運営費交付金(退手)	179,600	5.8	16,000	0.5	163,600	1,022.5
積立金取崩収入	107,585	3.5		0.0	107,585	皆 増
合 計	3,077,473	100.0	2,910,554	100.0	166,919	5.7

運営費交付金は、退職手当の増+164百万円、効率化(1.3%)による減額分32百万円、人勤影響額32百万円等を見込み、総額で87百万円増(+5.4%)となっています。県補助金(大規模修繕等の特殊要因経費に対し10/10補助)は、松江・浜田キャンパス地デジ対応改修事業ほか3件を予定し、9百万円増(+12.2%)となっています。

外部補助金等は、平成19年度から平成21年度に採択された文部科学省大学教育改革支援プログラム（GP）の継続分4件や受託研究収入等を計上し、45百万円減（37.2%）となっています。

寄附金は、旧北東アジア学术交流財団寄附金事業に充てるための収入として、平成21年度と同額を計上しています。

積立金取崩収入は、「教育研究及び業務運営充実積立金」を財源として実施する事業に充てるための収入として計上しています。（平成21年度予算額(補正)：64百万円）

目的積立金充当事業：教育向上、学生支援、GP後継、研究支援、業務改善等に資する事業

3. 支出予算

(単位:千円、%)

区 分	平成22年度当初		平成21年度当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
教育経費	240,652	7.8	231,358	7.9	9,294	4.0
研究経費	135,696	4.4	135,441	4.7	255	0.2
教育研究支援経費	199,058	6.5	194,202	6.7	4,856	2.5
人件費(退手以外)	1,645,868	53.5	1,636,000	56.2	9,868	0.6
一般管理費	445,549	14.5	454,607	15.6	9,058	2.0
施設費事業	86,833	2.8	77,380	2.7	9,453	12.2
受託事業等	107,366	3.5	157,566	5.4	50,200	31.9
予備経費	36,851	1.2	8,000	0.3	28,851	360.6
計	2,897,873	94.2	2,894,554	99.5	3,319	0.1
人件費(退職手当)	179,600	5.8	16,000	0.5	163,600	1,022.5
合 計	3,077,473	100.0	2,910,554	100.0	166,919	5.7
特定財源支出除き	2,596,089		2,659,608		63,519	2.4

教育経費は、マイナスシーリングによる経費節減の一方で、海外研修奨学金やキャンパスマイレージ事業の増等により、9百万円の増を見込んでいます。

研究経費は、マイナスシーリングによる経費節減の一方で、教員研究費について学内競争的資金へ重点的に配分したこと等により、0.3百万円の増を見込んでいます。

教育研究支援経費は、マイナスシーリングによる経費節減の一方で、無線通信基盤システム導入事業や機関りポジトリ構築事業の増等により、5百万円の増を見込んでいます。人件費は、共済費の増、県派遣職員のプロパー職員への切り替えによる減、退職手当の増等により、173百万円の増を見込んでいます。

一般管理費は、マイナスシーリングによる経費節減に加え、業務改善のための大学情報データベース化事業検討費を計上したこと等により、9百万円の減を見込んでいます。

施設費事業には、県補助金を財源とした大規模修繕等の事業を計上しています。

受託事業等には、旧北東アジア地域学术交流財団寄附金事業費40百万円、文部科学省大学教育改革支援プログラム（GP）継続事業分等を計上しています。

予備経費は、平成21年度の実績（新型インフルエンザ対策・緊急安全対策等）を踏まえ、37百万円を計上しています。

支出総額は、167百万円増（+5.7%）となっていますが、特定財源による支出を除くと25億96百万円で、前年度（26億60百万円）に比べ、64百万円減（2.4%）となっています。

特定財源：運営費交付金(退職手当分)、県補助金、外部補助金等、旧NEAR寄附金、積立金取崩収入

4. 主な事業の概要

(1) 教育の活性化

海外研修奨学金の拡充（全学）	10,900 千円
----------------	-----------

- ・ 本学の特色である「国際的な視野を持った人材養成」実現のため、海外研修奨学金制度を拡充し、研修を通じて異文化に深くふれ合うことで、大学のグローバル化を意識した学修の動機づけを図る。

（現行）奨学金給付上限：32名 （拡充後）195名（研修希望者見込）

「北東アジアにおける英語使用環境構築」事業（浜田C） <i>(新規)</i>	3,531 千円
--	----------

- ・ 平成21年度まで文部科学省現代GP事業として実施してきた本事業を、新年度から授業カリキュラムに移行し、合わせて授業実施に必要な経費の措置及び語学支援嘱託員等の配置を行う。

「ほいくまつり」事業の拡充（松江C）	1,130 千円
--------------------	----------

- ・ 保育学科学生が授業成果を自主的取組みとして企画・発表することにより具体的な学習機会を確保し、合わせて地域の親子に直接ふれあい楽しむことで地域貢献も行う。
- ・ 文部科学省特色GP採択事業をさらに発展させた事業を展開する。

「健康と生活を考える健康まつり」事業（出雲C） <i>(新規)</i>	803 千円
-------------------------------------	--------

- ・ 平成21年度まで文部科学省特色GP事業として実施してきた本事業を、学生の学習成果総括や能力育成の場、看護教育系大学の特色を活かす地域交流や地域教育実践の場として、これまで蓄積した実績と本学独自の創意工夫を織り交ぜ実施する。

「地域自主グループ支援ネットワーク」事業（出雲C） <i>(新規)</i>	4,124 千円
---------------------------------------	----------

- ・ 平成21年度まで文部科学省現代GP事業として実施してきた本事業を、地域自主グループの自立的活動に向けた支援を意識しながら、これまで育ってきたネットワークを本学の教育力向上や地域活性化への貢献といった具体的成果にますます結びつけるよう、内容を充実させ実施する。

(2) 学生支援

パソコン貸与事業（浜田C） <i>(新規)</i>	1,600 千円
---------------------------	----------

- ・ 経済的に困窮している学生の学修を支援するために、修学用パソコン10台を有償で貸与する制度を創設する。

就職活動支援「学職カフェ」事業（浜田C）	3,780 千円
----------------------	----------

- ・ 就職活動を行う学生をサポートするため、東京・大阪にサテライトキャンパスを設置し、現地での活動を支援するプログラムを提供する。また、全国の宿泊施設を割安で予約できるサービスも合わせて提供する。

図書館利用環境向上（休日開館）事業（出雲C） <i>(新規)</i>	1,036 千円
------------------------------------	----------

- ・ 学生の学習支援及び国家試験対策支援として、前後期定期試験・国家試験準備期間の休日に図書館を試行的にオープンして、利用環境の改善・向上を図る。

(3) 学生支援・地域連携の充実

地域に貢献する学生活動の支援充実(全C) <i>(新規)</i>	2,850 千円
----------------------------------	----------

- ・学生が地域ボランティア活動等に取り組むことを通じて、コミュニケーション能力、問題解決能力や自己PR力の向上を図られるよう、また、大学の地域貢献としてPRするため、以下の取組みを地域連携推進センター事業として実施する。

学生地域ボランティア活動推進事業

- ・学生が地域ボランティア活動等に安心して参加することができるよう、地域ボランティア活動等に際して発生する事故等に対する保険の保険料を大学が負担するとともに、窓口機能の強化、学生との意見交換会の開催等を通じて、学生ボランティア活動の推進を図る。

キャンパスマイレージ事業

- ・島根ユビキタスプロジェクトで開発されたICカードを導入し、学生のボランティア活動やエコ活動をポイント(「キャンパスマイレージ」)として電子的に蓄積し、地域活動及び社会的な実践活動を通じた社会貢献と学びの促進の動機付けとする。
- ・蓄積されたポイントは、一定の要件のもと各キャンパスの創意工夫を活かして学生に還元する。
- ・学生の活動実績・内容をデータとして蓄積し、積極的に学内外へ情報発信する。

学生と地域の架け橋づくり事業

- ・地域貢献活動等に取り組みたい学生と、学生の受け入れ・協力を希望する地域団体等のニーズのマッチングの機会を大学が提供するとともに、活動経費の一部を支援する。

(4) 教育環境整備

無線通信基盤システム導入調査費(浜田C) <i>(新規)</i>	3,000 千円
----------------------------------	----------

- ・学生が学内でパソコンを使用する場合のインターネット接続環境を向上するため、無線LAN設備を拡充することとし、その事前調査を実施する。

寄贈・研究図書システム登録事業(浜田C)	5,490 千円
----------------------	----------

- ・数多く寄贈・購入される研究図書等を速やかに図書システム登録するため、また、特殊言語図書について翻訳の上登録するため、必要な体制を整備する。

(5) 研究の活性化

サバティカル研修実施経費(法人本部) <i>(新規)</i>	3,000 千円
--------------------------------	----------

- ・本年度から新たに実施するサバティカル研修について、該当教員研修期間中の授業体制確保のために必要な経費を措置する。

機関リポジトリ構築事業(法人本部) <i>(新規)</i>	7,962 千円
-------------------------------	----------

- ・中期計画に基づき図書情報や学術情報の電子化を進め、大学間相互協力のもと学術情報の無料公開・交流促進を図るため、機関リポジトリシステムを構築する。

教員研究費の見直し（全C）	116,771 千円
---------------	------------

- ・ 予算編成方針に基づき、研究費予算総額については減額し、その一方で外部資金の獲得をより一層促進するため、学内競争的資金である学術教育研究特別助成金の充実等を実施する。

北東アジア地域研究センター事業	4,255 千円
-----------------	----------

- ・ 大学院生の教育・指導の充実を図るため、GP事業「魅力ある大学院教育イニシアティブ」に選定された「実践的北東アジア研究者の養成プログラム」の後継事業である「市民研究員との共同研究助成事業」及び「競争的課題研究助成プログラム」を継続実施する。

(6) 業務改善・効率化

大学情報データベース化事業検討費（法人本部） <i>(新規)</i>	3,000 千円
------------------------------------	----------

- ・ 本学が運用する業務情報システムを見直し、業務改善・効率化及び法人経営上の重要ツールとしての有効活用を実現するための情報の一元化・データベース化について、具体的な検討を実施する。

(7) その他

「学歌」「マスコットキャラクター」制定事業（法人本部） <i>(新規)</i>	5,000 千円
---	----------

- ・ 本学は統合法人化後3年経過し「島根県立大学憲章」制定を通じて3キャンパス共通の理念を明確に示したことを契機に、理念実現のための取り組みとして、大学憲章の精神を反映する「学歌」及び「マスコットキャラクター」を制定する。

島根県立大学開学10周年記念事業（浜田C） <i>(新規)</i>	3,000 千円
-----------------------------------	----------

- ・ 島根県立大学（浜田キャンパス）は平成22年に開学10周年を迎えるため、本学発展に尽力いただいた関係者に謝意を表し、本学創生期の足跡を形に残し、統合法人化を経た本学が次の新しい時代に向かう意思を明らかにするため、記念事業を実施する。

短期大学部認証評価実施経費（松江C、出雲C） <i>(新規)</i>	2,942 千円
------------------------------------	----------

- ・ 学校教育法に基づき7年に一度受審する短期大学認証評価に向け、委員会審議や申請書提出などの諸準備を実施する。（H23認証評価実施）

(8) 県特殊要因経費補助金（大規模修繕） 86,833 千円

・ 法人本部 地デジ対応改修事業、通信基盤統合事業	59,742 千円
・ 松江C 大講義室AVシステム更新事業	10,837 千円
・ 出雲C 警備システム更新事業	16,254 千円

(9) 外部資金関係 - H19 ~ 21採択文部科学省大学教育改革支援プログラム (G P) 継続分

「双方向的情報システムの構築による学生支援」 (学生支援GP・H19~22)(浜田C) ・マルチメディアを活用した在学生・卒業生に対するキャリア教育支援	14,000 千円
「情報教育におけるステップ式学習プログラム」 (新教育GP・H21~23)(浜田C) ・ステップ式学習テキスト開発、情報科目等再編により学生の「実証科学」力を向上	14,145 千円
「おはなしレストラン、はじまるよ！」 (新教育GP・H21~23)(松江C) ・絵本の読み聞かせを通して学生の人間力を育成するとともに地域へ貢献	18,420 千円
「eポートフォリオによる自己教育力の育成」 (教育GP・H20~22)(出雲C) ・eポートフォリオシステムと参画支援システムを構築し看護力・参画力を育成	10,000 千円

(10) 旧北東アジア地域学術交流財団 (旧 N E A R 財団) 寄附金事業 40,000 千円

〔主な事業〕	
・北東アジア学術研究プロジェクト事業	1,000 千円
・共同プロジェクト研究助成事業	7,000 千円
・地域貢献プロジェクト助成事業	3,000 千円
・北東アジア学術図書出版事業	2,500 千円
・国際学術交流事業 (復旦大学との国際シンポジウム等)	4,585 千円
・県民大学院 (N E A R カレッジ) 開催事業	1,200 千円
・交流県留学生教育支援事業	8,380 千円
・大学院留学生教育支援事業	8,635 千円